

ウスバカミキリ

釣井さんに呼ばれました。？、基地傍のヤナギの樹洞を指差して、「虫がいる」というので洞の中を覗いてみました。ノコギリカミキリかなと思いましたが、よくよくみるにちよいと形が違います。クロカミキリかもとも思いましたが、確信がなかったので、捕まえてデジカメで撮影しました。撮影記録は2015年8月10日11時43分です。帰宅して調べました。ウスバカミキリでした。虫おたくの筆者にしても初めての出会いであります。捕まえた感触で上翅が柔らかいので脱皮したばかりかな?と思いましたが、和名のとおり上翅が薄いので体重が軽いのでしょう。よく飛び回るとのことでした。



Wikipediaによりますと、体長30~55mm。夜行性で飛翔性が高いとのこと。昼間は食樹や衰弱木、立ち枯れ木などの洞や樹皮下に潜んでいるようなので、出会いの場面ぴったりでありました。昼間活動する身であれば出会いの機会がないわけで、この発見は幸運なのでありました。分布は日本全土、出現期間は6~8月、地域によって前後1ヶ月の幅が広がるようです。



食用虫のテッポウムシはウスバカミキリの幼虫であることが多いらしいのです。他にシロスジカミキリなどの大型のカミキリムシの幼虫も食べられるので、人類の進化のルーツが食虫動物だったことからDNAに刷り込まれた部分があり、原始時代から人類に食物として貢献してきたものと感謝の念がわきあがります。

この日ホームマックが後援するカミネッコンによるコドモ植樹会で江別市のサンサンキッズ学童保育園一行30人ほどが澄川にやってきました。昨年からの2回目です。大半がリピーターでして我々毫碌たかきの面々は忘れていても、チビッコたちの記憶は確かなのです。前回のことをしばしば口走ったりしますので、なまらめんこくなります。来年も是非ともご来林を切望いたす次第でございました。

